

食品廃棄物を脱水しリサイクルするシステムを構築 国内に加えアジア市場でも需要の掘り起こしに挑戦

従来各種産業用機械をOEM製造する受注型企業だったが、食品加工残渣を減量・減容する「スクリュープレス脱水機」の開発に成功し、自社製品を持つ機械メーカーになった。さらにその脱水した残渣を家畜の飼料にリサイクルする「エコフィールドシステム」を構築し、食品メーカーのゼロエミッションを支援することで、産業廃棄物の焼却量を減らし、二酸化炭素の低減に貢献している。また、食品残渣をリサイクルするシステムが少ないアジア市場に着眼し、タイと韓国での販売体制の構築に注力している。

所在地 静岡県静岡市清水区袖師町902
 電話/FAX 054-365-1991/054-366-5314
 URL <https://kawaguchiseiki.co.jp/>
 代表者 代表取締役社長 大澤 宏典

設立 1949年
 資本金 3,000万円
 従業員数 32人



静岡県の多くの食品加工事業者と連携して地域資源を活用した商品開発を推進

同社が開発した「スクリュープレス脱水機」は脱水効率が非常に高く、全国の食品メーカーや飲料メーカー等で採用され、モヤシや茶殻、麦芽かす、カット野菜等のゴミ減量化、産廃コスト削減に大きく貢献している(100kgの廃棄もやしを脱水後26kgへ)。さらに、同社の優れた脱水処理技術により、多様な対象植物から食品原料や医薬品原料、化粧品原料、サプリ原料等の抽出が行われ、お茶やみかんなどの地域資源活用に向け、静岡県内の多くの食品加工事業者と連携した高付加価値な商品開発が進められている。



脱水効率の高いスクリュープレス脱水機

アジア市場での需要掘り起こしに挑戦、タイと韓国で販売体制構築に注力

海外では食品残渣を家畜の飼料として再利用するシステムは少なく、潜在需要が大きいアジアにターゲットを絞り、輸出拡大に取り組んでいる。2018年、タイの展示会にスクリュープレス脱水機を出展し営業活動を開始、すでにタイと韓国にテスト用の脱水機を納入し脱水効率の高さを訴求した。タイの日系企業と脱水機の販売で提携し現地販売体制を整えた。今後、飼料の供給先も開拓していく方針である。また、タイの工業大学から2人のエンジニアを本社採用し、今後の海外展開を担う幹部候補生として育成中である。



もやしの脱水実験結果

介護現場の負担軽減へ向け、「新しいごみ問題」の解決策を提供する取組

使用済みの紙おむつは廃棄量が増加の一途を辿り社会的問題となっている。この問題の解決策として、大手メーカーが同社のスクリュープレス脱水機の脱水技術を用いて紙おむつを減量・減容する「回収型紙おむつ処理システム」を開発した。介護施設では使用後の紙おむつを収集日まで保管しなくてはならず、悪臭や衛生上の問題に加え、ごみ出しも大きな負担となっている。本格実用化が進めば、「新しいごみ問題」の解決策として、介護関連業界に福音をもたらす、同社製品の用途開発も広がり、付加価値向上につながる。



社員の意識まで変革する残渣の再利用